

平成 27 年度第 2 回 していますかチーム会議 (H27.8.18)
報告

前回チーム会議にて確認された年間検討テーマについて、具体的な話し合いを行いました。

1. 「周知（相談窓口）」

○相談への繋がりにくさや、繋がった経緯について把握し、そこから必要な取り組みを抽出

新たなアンケートは実施せず（これまでの声を大事に活用）、過重な負担ではない方法を検討。

- ・ 障害福祉計画アンケート結果の活用：

該当内容を抜き出して検討に活用していく。

- ・ 計画相談相談員・支援区分認定調査員等への協力依頼：

計画相談アセスメントや認定調査時等に、必要な聞き取りを協力頂く為の工夫を検討する。

○相談窓口周知チラシ

- ・ 市内の誰でも活用できるように、地域別である各委託相談支援 3 センターが、すべて掲載されているチラシの作成をしていく。

2. 「啓発」

○啓発について

啓発に大事な事：

「楽しみ」：「障害」と付けると関係者のみになりやすいが、楽しみがあると家族連れ等が来てくれる。

「継続」：他県の相談支援事業所がイベントを毎年継続開催し、相談場所だと中高生にアピールすることで、思春期の精神疾患発症の際等に、相談してもらいやすいよう取組んでいる。

効果的な方法：効果的に知ってもらうために、効果的な経路を特定し、重点的化が必要。

⇒各種研修やイベント等の機会をまずは委員間で共有して、啓発機会にしていく。

○障がい福祉サービス等の詳細情報の周知

目的：各障害福祉サービス等のわかり易い情報提供を図る。

掲載内容：各事業所のサービス内容、メリット等（障害福祉サービス以外の訪問看護等も必要）。

方法：・ 共通形式：比較可能、見やすい ⇒他市町等も参考に書式の項目を検討していく

- ・ 一覧の仕方：サービス種別ごとの一覧ではなく、困ったこと別の一覧等が良い

媒体：ホームページ、その他手段の併用（ホームページだけでは、たどり着けないひともいる）

3. 市民との意見交換会（自立支援協議会の周知も含む）

内容：市民より直接声を届ける機会がないとの声に応じて、市民から生の声を聴かせて頂く機会の開催について検討。

趣旨：市民との意見交換会と、啓発・周知の一体化を検討していく。

当事者に話をして頂いた後に、その話を踏まえて市民・参加者で意見交換をする 等。

講演して頂く当事者：親と本人との掛橋になるような話が出来ると精神障がいを抱える方 など。